

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 24日		～	令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 24日		～	令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応のため、1人ひとりに合わせたプログラムを設定することができる。	療育開始の前に体験利用を行い、より深くお子さんの特性を捉えてから実際の支援を行っている。	お子さんの特性をより深く捉えるために評価、アセスメントをしっかりと行い、お子さん自身が楽しみながらさまざまなスキルが伸びるように支援を組み立てていく。
2	親子通所のため、保護者とお子さんの特性や支援のねらい、内容を共有することができる。	保護者に積極的に療育に参加してもらうことにより、具体的にお子さんとの関わり方を伝えている。	面談の機会等を設けながら保護者とのコミュニケーションを密にし、ニーズを細やかに拾い上げ、共有しながら療育を進められるようにする。
3	多職種で連携することにより、多面的にお子さんの特性を捉えて支援に反映できる。	事例検討を通して様々な専門職の職員が意見する場を設け、支援内容に反映している。	内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行い、専門職の知識をより深められるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画の説明や療育の内容等の保護者への説明が不十分な点がある。	療育の時間内で説明を行おうとしていて、個別面談の機会等の案内が希薄であるため。	個別支援計画の内容を十分に理解し、納得してもらうため、療育の時間外も含めて個別面談の機会を必ず設けていく。
2	フォーマルな評価の取り組みが不足している。	フォーマルな評価について、いつ、どのような評価を行うかがルール化されていないため。	1年ごと（毎年12月）に子育てファイルふくいっ子の基礎調査票にて評価を行うことをルール化する。その結果を受け、保護者の方の了承の元、追加評価（感覚プロファイリング、協調運動の問題把握チェックリスト、KIDS、氷山モデル等）を実施していく。
3	各種マニュアルの職員への周知が不足している。	作成した時点での周知は行っていたが、継続的ではなく浸透していないため。	内部研修の計画を立案し、その中に各種マニュアルについての説明を盛り込み、定期的に周知する機会を設けていく。

公表

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室				公表日	令和 7 年 3 月 1 4 日	
		利用児童数		44		回収数		32 (回収率73%)
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	1	0	0		・活動スペースについては、法で定められた基準以上のスペースとなっております。また職員の配置数につきましても、基準を満たす人員配置を行っております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	3	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	4	0	1		・個別療育なので、できる限りお子さんの特性を考慮し、構造化された空間での療育を行っております。今後も保護者の皆様からのご意見を伺いながら、本人に適した環境を設定していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	0	0	・目的に合わせて別室（ブレイルーム、個人スペースなど）が設けられていて集中しやすいと思います	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	3	0	1	・行動学、幼児教育の専門からのご意見を参考に子どもと触れ合えました	・新規療育の前や、療育を継続していく中で常にアセスメントを行い、それぞれのお子さんの特性や本人、保護者のニーズに合わせて個別支援計画を作成し、それに基づいた療育を実施しています。大きな目標よりも、スモールステップで一つ一つの成功体験を大切にしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	4	0	1		・支援プログラムは、なないろのホームページにて公表しています。ぜひご覧ください。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	3	0	1	・目標高いテーマより、達成しやすいテーマで子どもへの自立達成に繋がっています	・家族支援について、現在のこと、先のことを保護者の方の思いに寄り添いながら対応させていただきます。どのような悩みや不安でも、お気軽にお申し付けいただけたら幸いです。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	0	3	・家族支援で、子どもに見くびられない、長続きできる対策を模索してほしい	・保育所や認定こども園、保育所等との直接的な交流は行っておりません。保育所等訪問支援などを通じて、様々な場面でのお子さんの支援に取り組んでまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	3	0	1	・支援計画されても、親が長続きをさせるような努力を、負担をかけない方法などで、安心、心のケアがほしい	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3	2	2	・臨機応変に成長や教育が子ども目線から分かりやすかった ・個人療育時に、10～20分でも集団活動時間を設けてほしい	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	6	1	5	・こども園に通っているため、そのような機会は必要と感じていません ・近隣の公園、催事、イベントで声掛けが多くなりました	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	0	1	・要旨がまとめられ、分かりやすかった説明でした	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	1		・子どもの状況や支援内容、相談等におきまして、十分対応しきれていないケースがあり申し訳ございません。安心して利用していただけるよう、職員間でお子さんや保護者により良く対応するための勉強を重ね、安心して通所できる施設づくりを進めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	6	2	1	・開催日、開催時間の検討、参加者同士の関係性を密にしたいです	・令和6年度は、偶数月の第3土曜日に『なないろカフェ』を開催しました。告知が分かりにくいとの声もあったので、開催日前に周知できる仕組みづくりを進めてまいります。きょうだい同士の交流の場は設けておりませんが、相談の中でご利用だけでなくきょうだい児への対応もさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	4	2	0	・共通理解と情報共有は一致しますが、日常と保育園と療育でズレが生じている感じがします	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	6	2	0	・療育に行くといつも色々話を聞いてもらい相談にのってもらい助かっています ・子どもの成長状況を説明していただけて、新鮮感がありました	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	3	2	1	・日常、保育園と自分の知らない子供の姿があって嬉しかったです	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	5	3	8	・保護者向けの会を開催しているのは知っているが、兄弟向けの会が開催されているかは知らないです ・参加したことがないため分かりません ・分け隔てなく参加を拒まないイベントで参加しやすかったです	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	3	・相談しやすく、返答が早期で助かり、参考になりました	・相談の申し入れがあった際には、日程を調整して実施したり、お電話での相談対応をさせていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2	0	0	・紙面と面談とで十分配慮をされてました	・活動内容につきましては、親子通所で支援場面を見ていただいているため、特に行っておりません。その他の情報につきましては、なないろのホームページを定期的に更新しているので、見ていただけると幸いです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	4	2	8	・自己評価を示してもらい、新規課題の提示、継続と分かりやすかったです	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	1	2	・説明、理解された故での選択、使用許可がなされていました	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	7	0	6	・説明趣旨がはっきり提示され、実行されていました	・各種マニュアル、指針等を策定しています。療育室入口にあるので、いつでも手に取りご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	8	1	12	・避難経路、目的、説明、点呼確認と迅速でした	・非常時対応の訓練につきましては、複合施設に設置した事業所であるため、他入居団体等と連携した訓練、事業所内での訓練を実施しております。緊急時の対応につきましては、療育時に取るべき行動と避難経路についての定期的な説明を
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	0	4	・子どもにも理解しやすい説明で分かりやすかったです	させていたいております。不明点につきましてはご意見を踏まえて検討して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	5	1	7	・連絡は迅速で、過ちに関しては謝罪が十分でした	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	1	・元気に明るく、楽しそうでした	・なないろの支援に満足いただけていない現状あることを職員一同で共有し、子どもや保護者に寄り添える事業所となるよう勉強を重ねてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	1	1	・遊びの平行線で本人の記憶に残らなくても、楽しそうでした	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	2	1	0	・親せき、友人以外からのアドバイスで新たな一面を発見できました	

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室				公表日	令和 7年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・空きスペースを有効活用しつつ、過ごしやすい環境を設定できている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・子ども1人に対して、職員が必ず1人配置されている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・視覚支援が様々な場所にある ・活動場所ごとに壁が仕切られている ・段差が少なく広々としている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・全ての療育終了後に毎日掃除をしている ・子どもに合った机やいすを使用している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・遊びたい場所で遊べるように、危険物がな いよう安全面の徹底		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・支援計画のチェック、事例検討、ミーティングでの相談		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・法に基づいて実施している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・事例検討やタ方ミーティングでの共有 ・氷山モデルを使用して支援方法の見直し、提案を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者による外部評価は行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・内部勉強会を毎月実施している ・外部研修は計画のもと、は各々が参加している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・なないろHPにて公表している	・個別療育のため、活動プログラムの立案は基本的に担当職員が行っています。定期的に相談やミーティング等を行う中で、多職種で連携をしながら支援内容を考えていく場面も多くあります。活動プログラムにご意見やご質問がありましたら、どうぞお気軽にお申し付けください。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・子どもと保護者の気持ちをすり合わせ、双方のニーズが反映されるように作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・全職員で共有し、意見を出し合っている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・子育てファイルふくいつ子の基礎調査票によるフォーマルなアセスメントや、日々の療育中のアセスメントにより、状況の把握を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・「本人支援」「家族支援」「地域連携」の各項目でねらい、支援内容を設定しながら支援を行っている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・ガイドラインをふまえながら目標を設定し、支援内容の構築を図っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・多職種の意見を貰う中で、プログラム自体の難易度のつけ方も相談している	・療育時には毎回インフォーマルなアセスメントを実施し、活動プログラムに取り入れています。障害特性を踏まえ、大きな流れは変えずに課題を変更するなど、子どもがパニックにならずに活動を進めることができるようにしているケースもあります。疑問のある方は、どうぞお気軽にお申し付けください。 ・支援終了後には打合せを行っているが、共有が弱いと感じることがあります。しっかりと振り返りの時間を確保しながら実施していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・本人が楽しんで成功体験ができ、かつ様々な経験ができるように組み立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・ミーティングで共有	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・毎日、業務終了時にその日の振り返りを行い、良かった点や悪かった点を確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎回、療育終了後に振り返りの記録をつけ、それをもとに半年ごとの計画の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・療育担当者が参画し、子どもの状況をアセスメントに基づきながら評価し、外部へ伝えている	・園との連携は、基本的には保育所等訪問支援を通じて行っています。頻度については主に園と相談して決めています。特性理解と、それに基づく関わり方を中心に助言等を行っていますが、十分に園に伝えきれていない場合もあるため、研修等を通して職員のスキルアップを図りながら、園と協働してお子さんを支えていく体制を整えていきます。 ・現在、保育所・認定こども園・幼稚園等と一緒に活動するなどのことは行っておりません。保育所等訪問支援や療育の場を見学してもらうなど、園の職員の方たちとの連携は今後も続けて行っておりまいます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・地域連携推進マネージャー、相談支援専門員を中心に、連携の体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・園訪問の際に情報共有、相互理解のための話し合いを行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・個別支援計画や基礎調査票を用いながら情報共有を行い、相互理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	3	2	・他の事業所と合同で研修を行うなどの取り組みを実施しているが、十分とは言えない。もっと深く連携できるとよい	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	・外部研修に参加して知識を深めている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・家での困りごとや今の課題について保護者と話す機会がある		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・なないろ便りにて情報を発信している		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・時間を設けて行っている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・療育中にお話を聞いている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・説明を行い、追加点などを聞き反映し、同意を得ている	・「苦情は事業所の質を上げるための大事な声」と考え、真摯に受け止めつつ改善に努めております。少しでも不審な点や疑問がございましたら、何なりとお申し付けください。 ・『なないろだより』にて、子育てや問題行動への対応の手掛かりとなる情報を発信しています。掲示のみで配布はしていませんでしたので、2025年4月以降は配布も行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて療育外で時間を設け相談対応を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・隔月で『なないろカフェ』を実施している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・毎月『なないろだより』を作成し、廊下とHPへの掲示を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報は同意書に記載されている機関とのみ共有している。また、個人ファイルは鍵付きの書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・障害ではないが言語の違いに対して資料を翻訳しながら対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・事業によっては窓口を広くし、参加できるようにしている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・各種マニュアルや指針、計画を策定し、療育室入り口にいつでもだれでも閲覧可能な状態にしてある	・各種マニュアルを設定し、玄関にいつでも閲覧可能な状態で置いてあります。マニュアルの内容について、職員の周知は万全とは言えないので、定期的な確認を実施していきたいと思います。 ・非常災害時の訓練につきましては、複合施設に設置した事業所であるため、他入居団体等と連携した訓練、事業所内での訓練(職員のみ、利用者と一緒に)を引き続き実施していきます。また、非常時にとるべき行動と避難経路につきましては、療育内での定期的な説明等を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時や療育中に詳しく保護者にお聞きする	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者にも確認しながら、おやつを提供を行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・月1回の安全点検を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ミーティングで共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年に数回の虐待防止研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		